

1月27日(木) 第9回

投資のベースキャンプ

ゲスト: 宮本大さん

新興市場の下落... どう捉える!?

① 東証マザーズ指数 → 金利上昇に影響を受けやすい
・ 昨年11月半ばから下落傾向

ピンチはチャンス!?

新興企業, 期待できる成長の幅が大きい小型株の市場なので, テンバガー銘柄 (現在の株価の10倍銘柄) も狙いやすい!!

▼34.33%

→ ワクワクする企業 が, キーワード 😊

「近い将来私たちの生活を豊かにする技術やサービスを持っている企業」
例えば, Netflix, Apple, セリア, ZOZOTOWN など...

テンバガー銘柄の確立を高める条件



- ・ 上場してから10年以内
- ・ 創業者がオーナー
- ・ 時価総額が500億円以下

「株価下落時も, 視点を少し変えてピンチをチャンスに捉える意識をもつ!!」

by グローバルファイナンシャルスクール 市川雄一郎 校長

インバウンドの今後は!?

訪日外国人 → 2019年まで伸び続けていたが, 2020年から減少に転じ, 2021年は過去最低の水準に...

- ・ インバウンドはいつ戻るかより「戻り方」
- ・ 量より質, として値上げ
- ・ 岸田首相の観光白書から団体旅行を扱う会社に恩恵がある予想。インバウンド関連にも明暗が!?
- ・ 客単価の向上, 付加価値向上の努力が株式市場 評価されるポイント。
- ・ 大阪EXPO2025がインバウンド復活のシンボル = 宿泊, 買い物, 飲食店の3点セットで考える
- ・ USJ(マリオ), 任天堂資料館, カジノ誘致などに湘西を制する者はインバウンドを制する。
- ・ インバウンド消費の85.7%を占める。

まとめ 今後インバウンドは多くの企業価値に!
今稼ぐ体質を作ってる会社をリサーチしてアフターコロナに備えよ。